

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標					
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見				
支援の提供 (続き)	9 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	21		8	・クラス職員と連携を取りながら、円滑にクラス運営ができるように意識している。 ・事前に打ち合わせが出来ていない時もあります。						・支援開始前、終了後に職員同士で打ち合わせができるような時間、環境が確保できるように努めています。				
	10 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	20		8	・クラス職員とこどもの様子を共有している。 ・保護者と情報交換したことを、職員間で共有しています。 ・職員間で話す機会を多く持てるようにしていきたい。										
	11 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	25		4											
	12 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画の見直し	28		1											
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	27		2							・相談支援専門員との連携、支援会議に参加し、情報共有や支援内容の統一等を行っています。				
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施				※該当なし										
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備				※該当なし										
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	29										・就園就学先の関係機関と支援内容や配慮事項について情報共有を行っています。必要に応じて担当者会議や訪問による直接の情報交換を実施しています。			
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	29													
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	27		2											
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会の提供	29				・定期的に交流をしています。 ・交流保育なども行っています。	33	3	0	4	・地元の幼稚園と月に1~2回の交流保育をさせてもらっている。 ・地域との交流は子どもにとっても刺激になるのもう少し機会が増えても良いと思う。 ・交流は少ない。	・近隣の幼稚園との交流は前期、後期ともに1回ずつ実施しています。地域とのつながりを構築しながら交流の機会を増やそうにしています。 ・就学、就園予定の児童の交流保育の時間帯に関しては交流を重ねていきながら園児の様子に合わせて、交流園と相談して回数や時間を調整しています。			
8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	24		3	2											
	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	26		3						40	0	0	0	・一つ一つの項目に対して丁寧に説明してもらった。	・入園前、年度初めの保護者総会の際にご説明しています。
	2 児童発達支援計画又を示しながらの支援内容の丁寧な説明	29								40	0	0	0	・一つ一つの項目に対して丁寧に説明してもらった。	・来園していただき、支援内容の説明をしています。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	29								38	1	0	1	・園で実施されているペアトレに定期的に参加させていただいている。 ・自宅で実践できる支援の内容を教えていただいた。	・天使園では、家庭支援の一環として、ペアレントプログラムやペアレントトレーニングを行っています。今後も実施する際には、ご案内させていただきますので、是非ご参加ください。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	29								39	0	0	1	・連絡帳でその日の状況が分かるので助かっている。 ・お向かえにいった際や個別療育の時間にも様子を伝えてくれたり共有ができています。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
保護者への説明責任・連携支援	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	29			・連絡帳や個別療育の際に、家庭での様子や困り感を聞き取り、一緒に考えながら解決策を見つけられるように努めています。	35	2	0	3	・個別やST、送迎時に話を聞いてもらったり、助言をいただいている。 ・困ったことがあれば、すぐにいるいるな提案をしていただいている。	
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	28	1		・参観日等で、保護者同士で話せる機会を設けています。	25	2	0	13	・行われているのは知っているが参加したことがないため分からない。 ・定期的に開催されている。	
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	29				27	1	0	12	・メールで何かあれば知らせてくれる。解決策の提案や、すでに対応していただいたので信頼できる。 ・苦情を聞いたことがない。	
	8 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	29				37	0	0	3	・言葉の伝え方を考えてもらっていると感じる。 ・毎日のノートに加え、電話連絡もこまめにもらっている。	
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報について子どもや保護者への発信	28	1			32	4	0	4	・連絡アプリで写真を送っていただけで助かっている。 ・写真を子どもと見ることが出来てありがたいです。 ・アプリ内の写真のアップロードの回数を増やしてほしい。 ・写真のアップロードが少ないし、更新が遅い。 ・行事の写真が忘れられたら送られてくるので、もう少し早くしてほしい。	・月1回配布していたクラスだよりの代わりにれんらくアプリにて、日々の活動の様子を発信しています。リアルタイムでお伝えできるように努めます。
10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	29				38	0	0	2	・行事の度にSNSに写真や動画をアップしないよう、注意喚起してくれるのはありがたい。 ・写真の掲載などはアンケートなどで事前に確認されている。		
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	29				35	0	0	5	・保護者にもマニュアルを配布してくださっているのが安心できる。 ・プリントやアプリで分かりやすく説明してもらっている。 ・見たことがないから分からない。	
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	29			・月に1回避難訓練を実施しています。さすまた訓練をおこない、全職員が適切に使用できるように備えています。	35	1	0	2	・定期的に避難訓練が実施されている。 ・劇や絵カードなど子どもにも分かりやすく伝えてくれるので良いなど思った。 ・子ども自身もどうすればよいか園で学習できていて助かっている。 ・見たことがないから分からない。	・様々な災害を想定して、月に1回避難訓練をしています。
	3 服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況の確認の実施	29			・研修に参加させてもらい、対応を学びました。						
	4 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	27	2								・医師の指示書に基づいて個々に対応しています。
	5 安全管理の徹底	29				35	2	0	1		
	6 家族等との連携を図るため、安全計画に基づく取組内容についての家族等へ周知	28	1			35	0	0	3		
	7 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	29			・ヒヤリハットなどは、白板に掲示して全職員で共有しています。						
	8 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	29									・毎年、虐待防止の研修を全職員で実施しています。
	9 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画への記載	29									・身体拘束を行う場合は、保護者に丁寧に説明を行い同意書をいただいています。今年度も該当する方はいませんでした。